

複数データの重合, 融合, グラフ分布図

Mandara では他にもいろいろな地図表現ができます。ちょっと複雑な分布図を作ってみよう。

- ◆課題7 前課題と同じデータを使用し、見本例に習って次の図を描きなさい。
- 絶対量 (○の大小) と相対値 (段彩パターン) の融合図
 - 3 指標 (核家族, 三世帯, 単独世帯) をグラフにした分布図。
 - 絶対量 (○の大小) と相対値 (段彩パターン) の重ね合わせ図
 - 図の下に次のコメントを付す: 表現で工夫した点, 読み取れる地域性

★提出 … Word に貼り付け, コメント付記。ファイル名: 「番号-氏名 k07」

1. 円○と階級パターンの融合図

・前課題では, 絶対量 (一般世帯数) を○の大小で, 相対値 (単独世帯率) を階級パターンで, それぞれ作図した。Mandara ではこの両指標を 1つの図に融合して表現できる (右図)。このほうがスペース節約できる洗練度の高い表現といえる。

<手順> … 世帯数+単独世帯率

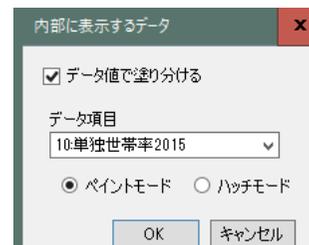
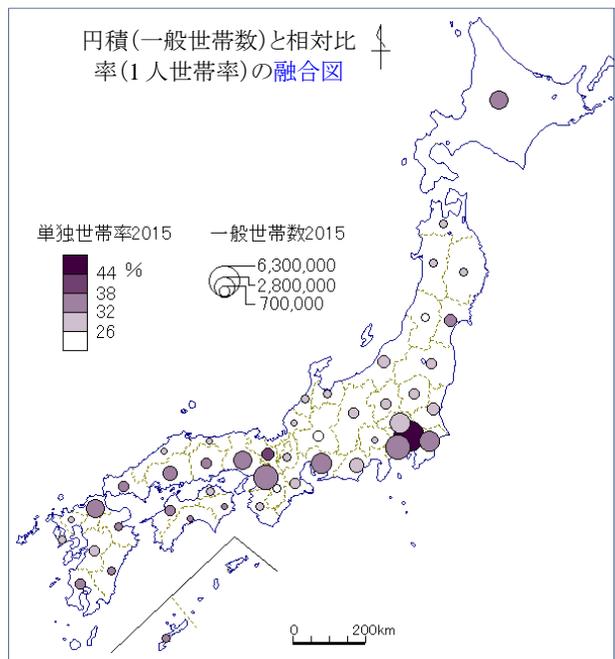
①「描画開始」画面で, 比率値「単独世帯率」を選び, 「階級区分モード」の「ペイント」で分布図を描く。ここで描いた段彩が○の中に融合されることになる。

②次に, 絶対量「一般世帯数」を選んで, 「記号モード」の「大きさ」に切り替わったことを確認。切り替わらなければ手動で指定。

③表示設定ボードに移って【内部データ】を click。

④開いた設定ボードで右のように指定・選択して【OK】
…すると上掲の融合図が表示される。

⑤最後に南西諸島に仕切り線を表示させ, 凡例・スケール等を見栄え良く配置・整形。 ⑥編集・画像コピー



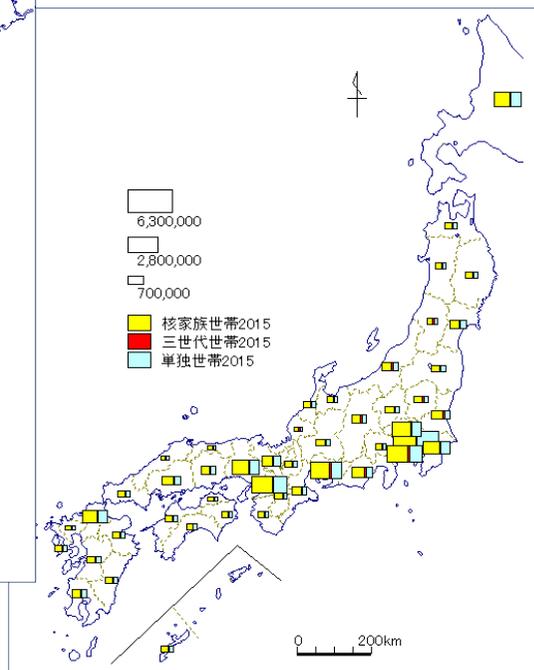
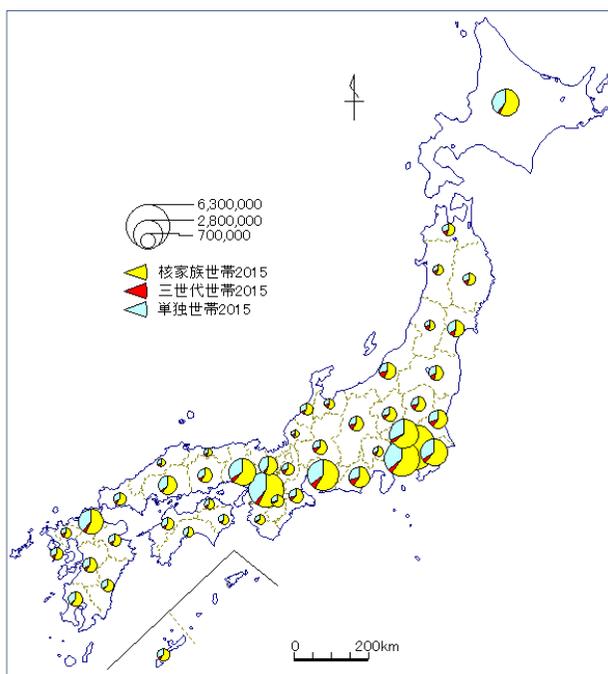
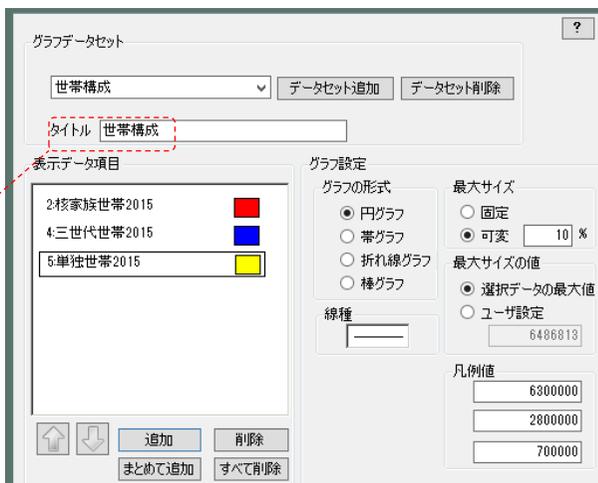
2. グラフ表示

・核家族世帯数，三世代世帯数，単独世帯数を円グラフにした分布図にしてみる。

<手順>

- ①「複数表示モード」の【グラフ】をクリック
- ②開いた設定ボードの「タイトル」欄に「世帯構成」などと記入。
- ③その上の「データセット」欄の右端をクリックして「世帯構成」を選ぶ。
- ④【表示データ項目】欄下の【追加】をクリックして、目当ての統計項目を選ぶ。
- ⑤色ボックスをクリックすると、色指定の小窓が開くので、適切な色を選ぶ。

※彩色の原則 … 広い面を占めるものは淡色，狭い面は濃色（下図）



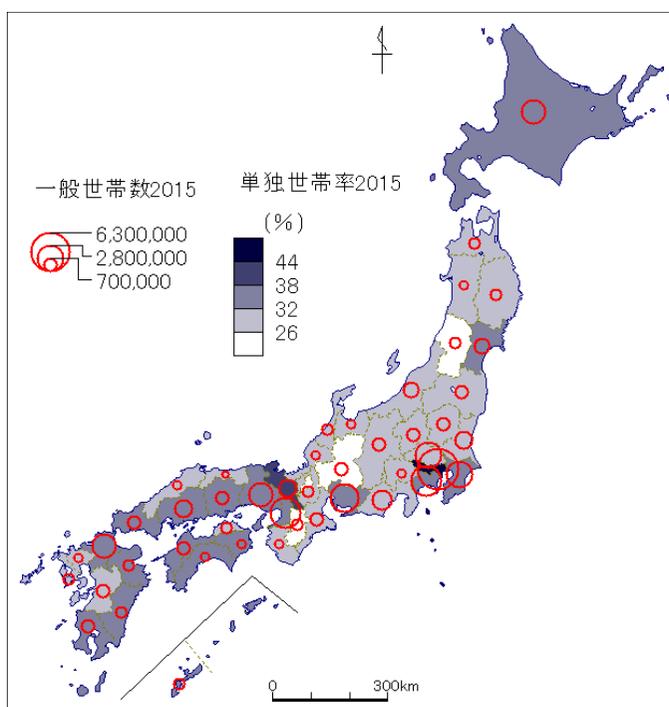
- ⑥【最大サイズ】…【可変】は○が総量比例の大きくなり、「%欄」で○のサイズを変えられる。
 - ・【固定】を選ぶと全地域同じ大きさの○になる。
- ⑦「帯グラフ」もなかなか効果的なので、やってみよ（上右図）。
- ⑧凡例位置・大きさ調整，南西諸島に仕切り線を表示

3. 複数データの重ね合わせ

・絶対量データと相対量データの同時表現は「**重ね合わせ**」でもできる。

<手順>

- ①【データ項目】で「一般世帯数」を選ぶ。
- ②「記号モード」・「大きさ」で分布図を描き、【**重ね合わせセット**】をクリック
※○を透明にし、○の輪郭線を段彩パターンの色に対して目立つ色にするとよいです。
- ③相対量「単独世帯率」を選んで、
- ④「階級区分モード」の「ペイント」で段彩パターン図を描いたら【**重ね合わせセット**】をクリック
- ⑤「複合表示モード」の【**重ね合わせ**】をクリック
- ⑥【**描画開始**】をクリックすると、2つのデータが重ね合わされた図が表示される。



- ⑦通常、出来栄をみて何度か**描き直す**ことになります。
 - ・その場合は、【**重ね合わせ表示**】ボードで【**すべて消去**】して、①からやりなおす。
 - ・または【**消去**】をクリックし、描き直したい項目を消去し、その図だけ描き直して【**重ね合わせセット**】します。
- ⑧凡例位置・大きさ調整、南西諸島に仕切り線を表示